

TAKE NINAGAWA

バイオグラフィー

ワン・ビン [王兵]

Wang Bing

1967年西安 (中国) 生まれ

1992 魯迅美術学院 (瀋陽) 写真専攻入学

1995 北京電影学院 撮影学科入学

主な個展

2021 「Wang Bing – L'Œil qui marche」 LE BAL, パリ

2019 「ワン・ビン[王兵]」 Take Ninagawa, 東京

「Rassenge Immagini segrete dalla Cina. Omaggio a Wang Bing」 国立映画博物館, トリノ

2018 「Wang Bing」 クンストハレ, チューリヒ

「Wang Bing」 Galerie Chantal Crousel, パリ

「Dispossessed Lives. Resilient Lives」 ソフィア王妃芸術センター/Filmoteca Española, マドリード

「Traces」 Tate Modern Weekend Film Series, テート・モダン, ロンドン

「Wang Bing: The Weight of Experience」 Film Society, Lincoln Center, ニューヨーク

2017 「Experience and Poverty」 Magician Space, 北京

「documenta 14, Kassel: Retrospective」 Gloria Kino, カッセル, ドイツ

2016 「Wang Bing: Three Portraits」 CCA Wattis Institute, サンフランシスコ, カリフォルニア州

2014 Film Retrospective and Video/Photography Exhibition, ポンピドゥ・センター, パリ

Galerie Paris-Beijing (パリ); (ブリュッセル)

Film Retrospective and Video/Photography Exhibition, ベルギー王立シネマテーク, ブリュッセル

2009 Galerie Chantal Crousel, パリ

主なグループ展

2022 「岡山芸術交流2022: 僕らは同じ空のもと夢をみているのだろうか」 岡山

2020 「China⇌Africa: Crossing the world color line」 ポンピドゥ・センター, パリ

2019 「Circular Flow」 バーゼル市立現代美術館, バーゼル

「Fast Fashion/Slow Art」 Bowdoin College Museum of Art (ブランズウィック);

George Washington University Museum and Textile Museum (ワシントンD.C.)

2018 「コチ=ムジリス・ビエンナーレ: Artists' Cinema - Documentation in Digital Humanities」

curated by Li Zhenhua, コチ, インド

「Hito Steyerl, Ben Rivers, Wang Bing, EYE Art & Film Prize」 EYE Filmmuseum, アムステルダム

TAKE NINAGAWA

- 2017 「Learning from documenta」 Centre Culturel de Strombeek, ブリュッセル
「Bi-city Biennale of Urbanism/Architecture」 深圳/香港
「documenta 14, Athens」 アテネ国立現代美術館 (EMST), アテネ
- 2016 「Chinese Video Art since the 1980s」 (「Time Test: International Video Art Research Exhibition」における展示) 中央美術学院美術館 (北京); 紅專廠 (RMCA) (広州)
- 2014 「第10回上海ビエンナーレ: Social Factory」 Power Station of Art, 上海

映画祭での特集

- 2023 オフィシャル・セレクション, 第76回カンヌ国際映画祭, カンヌ
- 2016 特集, dokumentarfilmwoche hamburg, ハンブルク
特集, ケーララ国際映画祭, トリヴァンドラム, インド
- 2015 回顧上映, Festival Black Movie, ジュネーヴ
回顧上映と写真展示, 全州国際映画祭, 韓国
- 2014 回顧上映, 環太平洋国際映画祭, ウラジオストク
AV Festival 14, ニューカッスル・アポン・タイン, イギリス
- 2011 特集, Cinema South Festival, スデロット, イスラエル
- 2010 回顧上映, Milano Filmmaker Film Festival, ミラノ

受賞

- 2021 CHANEL Next Prize
- 2019 ロバート & フランシス・フラハティ賞 (大賞), 山形国際ドキュメンタリー映画祭 - 死靈魂 (2018)
- 2017 金豹賞, 第70回ロカルノ国際映画祭, スイス - ファンさん (2017)
EYE Art & Film賞, アムステルダム
- 2016 Orizzonti Award for Best Screenplay, 第73回ヴェネツィア国際映画祭 - 苦い銭 (2016)
- 2014 グランプリ, リスボン国際ドキュメンタリー映画祭 - 父と子 (2014)
- 2013 Mongolfière d'argent, ナント三大陸映画祭 - 収容病棟 (2013)
グランプリ, フリブール国際映画祭, スイス - 三姉妹～雲南の子 (2012)
Critic Prize, Black Movie Festival, ジュネーヴ - 孤独 (2012)
- 2012 Orizzonti Award for Best Film, 第69回ヴェネツィア国際映画祭 - 三姉妹～雲南の子 (2012)
Montgolfière d'or, ナント三大陸映画祭 - 三姉妹～雲南の子 (2012)
Best Director, Muhr AsiaAfrica Award, ドバイ国際映画祭 - 三姉妹～雲南の子 (2012)
Best Film Award - リスボン国際ドキュメンタリー映画祭 - 三姉妹～雲南の子 (2012)
- 2011 Prix Spécial du Jury, Festival Ânûû-rû âboro, Pwêêdi-Wiimîâ, ニューカレドニア/カナキー
- 名前のない男 (2009)
- 2010 Jury Prize, Prize of the Spirit of the Mirror, アンドレイ・タルコフスキー国際映画祭
「Zerkalo」, イヴァノヴォ, ロシア - 無言歌 (2010)
- 2008 Ecumenical Jury Award, Special mention, フリブール国際映画祭,
スイス - 鳳鳴—中国の記憶 (2007)
- 2007 Georges de Beauregard Prize, マルセイユ国際映画祭 (FID) - 鳳鳴—中国の記憶 (2007)
ロバート & フランシス・フラハティ賞 (大賞), 山形国際ドキュメンタリー映画祭
- 鳳鳴—中国の記憶 (2007)
Young Critics Award, シネマ・デジタル・ソウル映画祭 - 鳳鳴—中国の記憶 (2007)

TAKE NINAGAWA

- IPJ University Prize, リスボン国際ドキュメンタリー映画祭 - 鳳鳴—中国の記憶 (2007)
- 2006 フランス国家功労勲章 (Légion d'honneur)
- 2005 Grand Prize of the Documentary Jury, メキシコシティ国際現代映画祭 (FICCO)
- 鉄西区 (1999 - 2003)
- Grand Prize of the Documentary Jury, モントリオール世界映画祭 - 鉄西区 (1999 - 2003)
- 2004 Prize-winner, La Résidence, 第57回カンヌ国際映画祭シネファウンデーション
- 鉄西区 (1999 - 2003)
- 2003 ロバート & フランシス・フラハティ賞 (大賞), 山形国際ドキュメンタリー映画祭
- 鉄西区 (1999 - 2003)
- グランプリ, マルセイユ国際映画祭 (FID), 鉄西区 (1999 - 2003)
- Montgolfière d'Or, Jury Documentaire, ナント三大陸映画祭 - 鉄西区 (1999 - 2003)
- 2002 グランプリ, リスボン国際ドキュメンタリー映画祭 - 鉄西区 (1999 - 2003)

主なパブリック・コレクション

アテネ国立現代美術館 (EMST)
ソフィア王妃芸術センター
フランス国立造形芸術センター (CNAP)
ポンピドゥ・センター
M+